

ふりがな	さとう よしはる	
氏名	佐藤 芳治	
区分	アドバイザー	コンサルタント
<b>専門分野又は得意とする分野</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ まち歩き企画など、地域の方と共にまちに関心が高めるきっかけを作ること。</li> <li>・ 杜の都仙台を支える花とみどりによる市民協働のまちづくりを進める仕組みづくり。</li> <li>・ ワークショップの手法を用いて、市民参加型の計画づくり、基本設計を行うことで、利用者の潜在的なニーズを取り入れた空間像を導き出すこと。</li> <li>・ 広域のエリア単位での地域の位置付けや将来像の提示など、長期的な視点とともに各種データを分かりやすく提示することで地域の方が主体となってまちづくり計画を推進する支援。</li> <li>・ 複数の建物や敷地が広がりを持つ空間のデザイン。建物と外部空間のあり方などまちづくりとしての計画づくり。</li> <li>・ 建物の企画段階から、将来を見据えた事業を計画し、ユーザの条件の中で最良の環境を創出するためのコンストラクションマネジメント。</li> </ul>		
<b>主な実績</b> <p>H27年5月～ 仙台ふるさとの杜再生プロジェクト推進業務</p> <p>R5年12月～ 仙台花と緑の協働ネットワーク「ハナミドリエ」運営支援業務</p> <p>R7年6月～ 西公園屋内遊び場基本計画策定支援業務</p> <p>R2年6月～ 仙台市遊び環境調査、プレーパーク普及啓発事業、遊び場展開事業</p> <p>R6年8月～ プレーリーダー育成事業</p> <p>R6年8月～ 新本庁舎低層部等一体的利活用に係る協議組織準備会 運営支援業務</p> <p>R7年7月～ 令和7年度市街地整備促進協議会研修開催業務</p> <p>R6年7月～R7年1月 令和6年度市街地整備促進協議会研修開催業務</p> <p>H30年4月～R4年3月 定禅寺通活性化協議会コーディネイト等業務</p>		
<b>資格等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 技術士 建設部門（都市及び地方計画）</li> </ul>		

### まちづくりに関する活動履歴

- ・ せんだいセントラルパーク構想を推進することをテーマとした仙台都市デザインガイドブック 2006 を出版し、仙台の都市の魅力とそれを高める都市づくりを市民とともに進めていく提案を行ってきた。
- ・ ワークショップの手法を用いて、地域住民とともに新しい集会所や広場の計画を行い、その成果を設計の前提条件に組み入れ、利用者の意見を反映した公共空間の整備を実践してきた。
- ・ 大学キャンパスの計画を通じて、建物単体のデザインだけでなく、建物群とその間にあるオープンスペースの関係性を重視したまちづくりとしての都市デザインの経験を積んできた。
- ・ 全国の市民協働や地域組織を支える取り組みを調査研究し、市民社会の基盤を作るための仕組みや施策について提案を行っている。
- ・ 市民による魅力的なアクティビティの創出と公共空間の利活用を高めることによる質の高い環境整備や維持管理の社会実験として、広瀬川河川区域において初の「川床」や西公園のパークマネジメント「西公園 4WEEKS」などに携わった。
- ・ 定禅寺通の活性化に向けて、定禅寺通活性化検討会の地元メンバーによるまちづくり基本構想の策定の支援や、立町における歩道を活用した日常的な賑わいづくりを行うリビングストリートプロジェクトの伴走支援を行っている。
- ・ 仙台ふるさとの杜再生プロジェクトの運営支援に 2014 年の立ち上げ準備から携わっており、市民と共に海岸林の再生を通じて、市民協働と次世代への震災メモリアル、および環境学習につながるプログラムをサポートしてきた。
- ・ 全国都市緑化仙台フェアのレガシー事業としてせんだい花とみどりの協働ネットワーク「未来の杜せんだいネット ハナミドリエ」の立ち上げから、スクールの運営など市民協働による活動展開のサポートを行っている。
- ・ 仙台商工会議所の仙台活性化まちづくり 2030 検討委員会のアドバイザーとして、地元経済界の多様な角度からの意見を提言書「チャレンジシティ仙台」として取りまとめを担当した。
- ・ 市役所本庁舎の建て替えや音楽ホールなど、仙台の街の核となる重要な計画について、誰もが語り合うことができる公開ディスカッションの場「まちづくりトークナイト」を企画した。

### まちづくりについて考えること

私は、いいまちをつくりたいと考えています。多くの方もそう思っているでしょう。では、いいまちとはどのようなまちでしょうか。きらびやかな都会でしょうか、水と緑が美しい田舎でしょうか。買い物ができる便利なところか、医療や福祉サービスが整ったまちでしょうか。一人一人、いいまちとして想い描くものは違うはずですが、ではどのようにして、実際にいいまちにしていけばいいのでしょうか。

私は、旅行が好きです。幸いにして仕事でも、世界の日本の様々な街に行きました。ニューヨーク、シカゴ、サンフランシスコ、ローマ、ベネチア、フィレンツェ、バルセロナ、パリ、ミュンヘン、プラハ、ヘルシンキ、シンガポール、香港、ソウル、ホノルルなどと北海道から沖縄まで 40 県以上訪れています。もちろん旅行者の目線ですが、どこもいいまちだなと思いました。そのような素敵なまちには、古今東西場所は違えど、長い歴史と文化が積み重なっていて、自然の中から生まれた美味しいものがあります。何よりもそのまちの人々が日々の暮らしを楽しむ姿を見て、惹かれるのです。

私も仕事として対象となる街や地域については、様々な角度から調べます。地形や自然、気候風土、歴史、産業、文化、教育、景観など。地元の色々な人に伺って街の特徴や魅力、今後のまちづくりに繋がる「何か」を探すことに全力を挙げます。そうして見つけた手がかりを、地域の方と共有し、まちの個性や魅力へと大きく育てていく。まちづくりとはそのような作業だと考えています。

私たちは日々の生活に追われてしまい、本当はすぐそこにあって旅人が目を留める、このまちの魅力に気がついていないだけかもしれません。複雑化する地域課題に対しても、一人一人が地域を改めて見渡して、解決の糸口やより楽しく暮らせるきっかけを見出していきたいと思えます。

皆さんと共にまちをもっと楽しく、いいまちにする、そのお手伝いをできれば幸いです。